

地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の名称

道の駅を核とした広域観光ネットワーク形成等による地域再生計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

広島県，山県郡安芸太田町及び北広島町

3 地域再生計画の区域

広島県山県郡安芸太田町及び北広島町の全域

4 地域再生計画の目標

安芸太田町及び北広島町（以下「芸北地域」という。）は、広島県の西北部に位置し、豊かな自然や文化・歴史的資源を有する地域である。

芸北地域は、特別名勝三段峡などを有する西中国山地国定公園を始め、キャンプ場、スキー場、温泉、史跡、都市との交流施設等、各種の観光交流資源を有しており、年間の観光客数はここ数年280～300万人となっている。

平成14年4月にはアーチ式コンクリートダムで高さ国内第2位である温井ダムの一般公開の開始などにより、観光客数の増加要因はあったが、平成15年11月には、入込みの重要な交通手段であったJR可部線の可部～三段峡間の廃止などが影響し、平成16年の観光客数は280万人を割っており、芸北地域への主要な入込みであるスキー客が最盛期の半分になるなどの最近の減少傾向から、更なる減少が懸念されている。

産業の少ない両町にとって、主要産業である観光の振興は最重点課題であり、観光振興施策の推進と合わせ、主要な観光地へのアクセスになっている町道、林道を整備し、早期に両町にある道の駅を核とした広域観光ネットワークを形成する必要がある。

特に、廃止されたJR可部線に替わる集客を確保するためには、旅行業者が主催するルート観光に、芸北地域の観光地を組み入れる必要がある。芸北地域には観光のポイントとなるアイテムは揃っているが、ルート化には至っていない。このため、大型観光バスが安全に通行できるよう町道等を整備するとともに、併せて観光の拠点となる道の駅「来夢とごうち」と「舞ロードIC千代田」を結ぶ国道191号線・433号線を中心とした広域周遊ルートを構築し、入込み客の増、交流人口の拡大による地域再生を図るものである。

また、芸北地域では、高齢化・過疎化が進行（65歳以上の高齢者が34%（H12国勢調査）を占めるとともに、平成12年時点で過去5年間の人口が5%減少）しており、その影響や林業の停滞等により手入れ不足の森林の増加等が地域の課題となりつつあり、間伐などの森林整備、林業振興のための林道整備は益々重要となってきている。更に、整備された森林を

活用して、森林浴、自然体験活動、上下流の交流拡大など、森林空間の利用促進、観光振興を図るためにも林道を整備する必要がある。

このため、拠点となる道の駅周辺施設や観光交流施設整備による観光振興と間伐の推進など林業の活性化につなげるため、地域の重要なインフラである町道、林道を効率的に整備し、地域の広域観光ネットワークの構築と健全で活力のある森林の整備を図るものである。

同時に、観光交流促進のため各種イベントを継続的に実施するとともに、中国自動車道加計バスストップにおける本格設置に向けたスマートインターチェンジ（ETC専用IC）の社会実験の延長や常設インターチェンジの検討により観光バスの利用促進を図るほか、森林整備事業など各種施策の活用により雇用の創出、元気あふれる地域づくりを行い、地域再生を図るものである。

（目標１）観光振興 [観光客数 2,790 千人 ⇒ 2,860 千人]

（道整備に関連する地区の観光客数：10%増）

（目標２）林業振興及び森林整備の推進 [森林整備率 10%]

（対両町の私有林面積、5年間）

芸北地域の観光客数の推移 （単位：千人）

区分	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年
安芸太田町	689	713	989	1,059	811
北広島町	2,084	2,042	2,034	1,855	1,980
計	2,773	2,755	3,023	2,914	2,791

※ 安芸太田町・北広島町調べ

5 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

安芸太田町の道の駅「来夢とごうち」（平成7年完成）と北広島町の道の駅「舞ロードIC千代田」（平成16年完成）は、中国自動車道のインターチェンジに位置しており、芸北地域への入込みの入口として、休憩・飲食・物販のみならず芸北地域の観光交流情報の発信拠点となっている。

このため、町道門田線（昭和60年1月16日路線認定）の付帯施設として駐車場を整備し、道の駅の機能強化を図るほか、幅員が狭くシーズン中は渋滞を起している町道水梨線（昭和59年6月14日路線認定）、町道小原大暮線（昭和60年1月11日路線認定）及び町道本郷梶ノ木線（昭和59年6月14日路線認定）を改良し、三段峡や天狗石山などの観光交流資源へのアクセスの改善を図るとともに、町道竹本鷹ノ巣線（昭和56年3月25日路線認定）を改良し、広域農道を經由することにより千代田から王泊ダム等へ至るアクセスの大幅な改善

を図る。さらに、加計バスストップスマートインターチェンジの本格設置に向けて町道津浪巡回線（昭和 47 年 3 月 30 日路線認定）及び町道イロハ線（昭和 59 年 3 月 30 日路線認定）を改良し、一般国道 191 号とのアクセスを改善することにより、中国自動車道を活用した芸北地域の広域観光ネットワークが形成され、観光交流資源の利用促進に資する。

また、加計地区の生活環境整備と一体的に行っていた安芸太田町と北広島町を結ぶ林道三谷塩明線（地域森林計画：平成 16 年 12 月 27 日広島県告示第 1518 号、以下林道は全て同じ）を集中的に整備することにより、寺尾銀山跡へのアクセスを確保するとともに、併せて、細見大塚線の開設、林道鹿渡原線の改良や林道大原線及び林道平家線の整備を行うことにより森林へのアクセスを改善し、間伐など森林整備の推進と森林空間利用の促進を図り、森林の持つ多面的機能の維持発揮に資する。

さらに、上記の 2 つの「道の駅」を結ぶ国道 191 号線・433 号線を両町の中心軸に位置付け、これを中心に国県道・町道・農林道により広域ネットワークを構築するものである。なお、今回整備する町道・林道は、概ねこの中心軸を介して連携しており、整備により新たなネットワークが形成されるものである。

5-2 法第 5 章の特別の措置を適用して行う事業

道整備交付金を活用する事業

整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

(ア) 施設の種類、(事業区域)、事業主体

町道：(安芸太田町・北広島町)、安芸太田町・北広島町

林道：(安芸太田町・北広島町)、広島県・安芸太田町・北広島町

(イ) 事業期間

町道：平成 17 年度～21 年度

林道：平成 17 年度～21 年度

(ウ) 整備量

町道：5.8 km、付帯駐車場 1.3 ha

林道：11.9 km

(エ) 総事業費

総事業費：2,441,200 千円

町道：1,343,000 千円（うち交付金 671,500 千円）

林道：1,098,200 千円（うち交付金 558,100 千円）

5-3 その他の事業

地域再生法による特別の措置を活用するほか、「道の駅を核とした広域観光ネットワーク形成等による地域再生計画」を達成するため、次の事業を総合的かつ一体的に行うもの

とする。

ア 観光交流施設整備関係事業

国土交通省の都市地方連携推進事業を活用して、次の施設を整備する。

- ① 戸河内 I C 周辺：夢づくり交流館（平成 17 年度完成予定）
[都市との交流拠点，雨天時でも体験活動が可能な屋根付広場の整備]
- ② 三段峡：入口交流広場（平成 17 年度完成予定）
[三段峡駅跡に，交流広場，休憩所，駐車場等の整備]

文化庁の史跡保存修理事業を活用して、次の施設を整備する。

- ③ 小倉山城跡整備（平成 17 年度完成予定）
[戦国時代の城跡の復元，修復等]

また，単独事業で，次の施設を整備する。

- ④ 寺尾銀山整備（平成 18 年度完成予定）
[銀山跡に遊歩道，広場等の整備]
- ⑤ 道の駅「舞ロード I C 千代田」周辺整備（平成 21 年度完成予定）
[神楽用ステージの整備]

イ 観光交流促進関係ソフト事業

- ① 山開き，春まつり，もみじまつり，体験学習等の各種イベントの開催
- ② 神楽，花田植え等の郷土芸能の保存活動

ウ 社会実験の推進

- ① 加計 BS スマート I C 社会実験

エ 森林整備関係事業

- ① 林野庁の森林整備事業を活用し，森林基幹道を整備するとともに，下刈りや間伐等を積極的に行い，森林の持つ多面的機能の維持発揮を図る。
- ② 林野庁の森林整備地域活動支援交付金を活用し，森林施業の実施に必要な地域活動を支援する。

6 計画期間

平成 17 年度から平成 21 年度まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4 に示す地域再生計画の目標については，毎年度必要な調査を行い，状況を把握・公表するとともに，広島県，安芸太田町，北広島町等からなる「芸北地域再生会議」を開催し，達成状況の評価，改善すべき事項の検討等を行うこととする。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項